

## ■特長

- 1) 脂質項目を1液としたキャリブレーションで使い勝手を良くしました。
- 2) ヒト血清を原料として調製し、変性がなく、実試料と性状が近似しています。
- 3) 上位の標準物質がある項目は、不確かさの大きさを表記しました。
- 4) 融解後すぐに使用可能です。
- 5) 使いやすい点眼瓶容器を使用しています。

## ■使用方法

25～37℃の水浴中で完全に融解させた後、ゆるやかに転倒混和します。  
融解後は通常の検体と同様に取り扱います。

## ■安定性

本品は、融解前は凍結(−15℃以下)で保存して下さい。  
なお、融解した後は2～10℃保存で2週間安定です。また、凍結融解は5回まで安定です。

## ■参考分析値(例)

Lot No.30901

成分(測定法)		分析値 <sup>※1</sup> 不確かさ <sup>※2</sup> 単位	上位の標準物質
総コレステロール (コレステロールオキシダーゼ法)	①	247 <sup>※3</sup> mg/dL	NIST SRM No. 911c コレステロール
	②	247 ± 2.8 mg/dL	コレステロール・中性脂肪常用参照標準物質 ReCCS <sup>※4</sup> JCCRM223-29
中性脂肪(酵素比色法) フリーグリセロール消去		121 ± 1.3 mg/dL	コレステロール・中性脂肪常用参照標準物質 ReCCS <sup>※4</sup> JCCRM223-29
リン脂質 (コリンオキシダーゼ法)		254 mg/dL	社内標準物質 塩化コリン

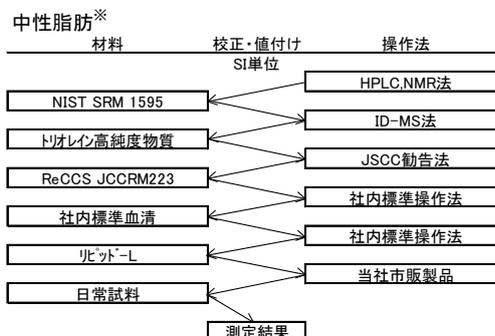
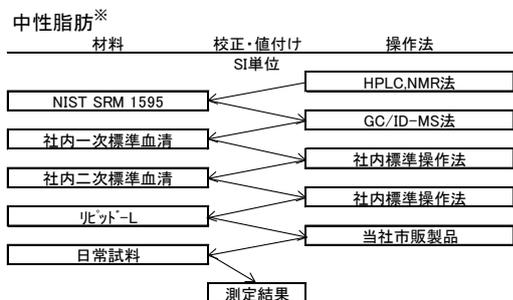
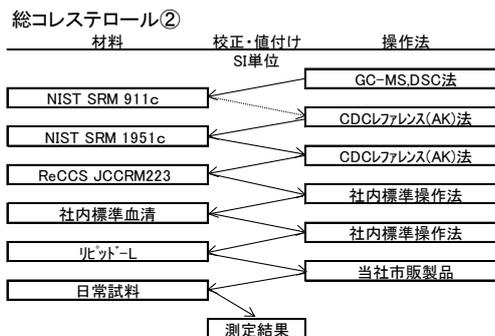
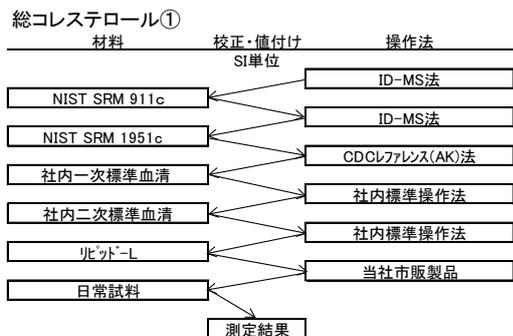
※1 各成分濃度はロットにより異なりますので注意して下さい。

※2 不確かさの評価および表現は日本臨床検査標準協議会(JCCLS)・認証委員会標準物質小委員会、  
(社)日本臨床検査薬協会(JACRI)・技術委員会報告の『企業が表示値と不確かさをキャリブレーションに  
表示するためのガイドライン』(平成17年1月初旬)に基づいて表記しております。

※3 CDC/CRMLN(Cholesterol Reference Method Laboratory Network)国際レファレンスラボの値付け  
にトレースする場合にはこちらの値を使用してください。

※4 有限責任中間法人 検査医学標準物質機構(ReCCS)

◆トレーサビリティ体系図



※中性脂肪のトレーサビリティ体系図は2種類ありますが、CDC基準分析法での値のトレーサ確認しており、ReCCS JCCRM223で得られた測定値と差がないため、1種類のみを表示値となっております。

■取扱い上の注意

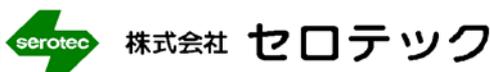
- 1)原料であるヒトプール血清中のHBs抗原, HIV抗体, HCV抗体は、EIA法にて陰性であることを確認してあります。しかし、ヒト血清に由来する製剤に感染性が全くないことを証明するための方法が、まだ確立されていません。患者血清と同様に注意して取り扱って下さい。
- 2)リン脂質の分析値は当社試薬で測定したものです。
- 3)本品は、アジ化ナトリウムを含有しておりませんので、PODやカタラーゼに対する阻害はありません。
- 4)製品到着時に融解していた場合でも性能には影響ありませんが、到着後すみやかに凍結保存して下さい。

■貯法及び有効期間

貯法: -15℃以下保存 有効期間: 製造後1ヵ年

■包装

製品コード	製品内容	包装形態
A241-50	「セロテック」リピッド-L	2ml × 3



〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

お問い合わせ先 企画開発室 E-mail: kikaku@serotec.co.jp